

年代別 赤十字病院の設立・移管状況

平成28年1月1日現在

年代	日本赤十字社が 設立した施設	移管を受けた施設							計
		国立	県立	市・町・郡立	組合立	医療団	個人	その他	
明治	医療センター(19年) 高松(40年) 大阪(42年)		和歌山(38年) 姫路(41年)	長野(37年) 大津(37年) 伊勢(37年) 富山(40年)					9
大正	前橋(2年) 名古屋第二(3年) 秋田(3年) 旭川(4年) 盛岡(9年) 水戸(12年) 岐阜(12年) 仙台(13年) 金沢(14年) 京都第二(15年)		松山(2年) 鳥取(4年) 山口(9年) 福井(14年)	高山(11年) 諏訪(12年) 石巻(15年)			鹿児島(12年)		18
昭和 (戦前)	岡山(2年) 高知(3年) 長浜(7年) 小野田(7年) 静岡(8年) さいたま(9年) 京都第一(9年) 北見(10年) 松江(11年) 名古屋第一(12年) 浜松(13年) 嘉麻(13年) 広島・原爆(14年) 小川(14年) 伊達(15年) 高槻(16年) 小清水(16年) 福島(18年) 熊本(19年)			柏原(10年) 浦河(14年) 八戸(18年)	伊豆(9年) 秦野(13年) 山梨(16年) 裾野(17年) 庄原(18年)		今津(4年) 長岡(6年) 函館(14年)		30
昭和 (戦後)	清水(20年) 多可(20年) 大森(21年) 引佐(21年) 置戸(22年) 福岡(22年) 玉野(22年) 武蔵野(24年) 下伊那(24年) 原町(27年) 相模原(28年) 舞鶴(28年) 古河(28年) 飯山(28年) 葛飾産院(28年) 神戸(30年)			徳島(24年) 三原(24年) 栗山(29年) 唐津(32年) 長崎原爆(33年)	川西(23年) 深谷(25年) 安曇野(26年) 益田(29年)	成田(23年) 芳賀(24年) 那須(24年) 足利(24年)	釧路(20年)	大分(27年) 沖繩(27年)	32
平成		大津志賀(14年)	長崎諫早(17年)	みなと(17年)					3
計	48	1	7	16	9	4	5	2	92

- ※横浜市立みなと赤十字病院は指定管理者制度による運営。
- ※さいたま赤十字病院(平成15年4月1日改称:旧名称 大宮赤十字病院)
- ※古河赤十字病院(平成17年10月1日改称:旧名称 猿島赤十字病院)
- ※安曇野赤十字病院(平成18年4月1日改称:旧名称 豊科赤十字病院)
- ※嘉麻赤十字病院(平成19年4月1日改称:旧名称 筑前山田赤十字病院)
- ※多可赤十字病院(平成22年10月1日改称:旧名称 中町赤十字病院)
- ※伊勢赤十字病院(平成24年1月1日改称:旧名称 山田赤十字病院)
- ※那須赤十字病院(平成24年7月1日改称:旧名称 大田原赤十字病院)
- ※相模原赤十字病院(平成26年4月1日改称:旧名称 津久井赤十字病院)